

～支援額に上限なし！SBI 大学院大学 修了生向け事業支援制度～
『SBI-U ベンチャーチャレンジ制度』、推薦案件決定！

SBI 大学院大学(学長：北尾 吉孝、所在地：神奈川県横浜市)は、2015 年度より、本学の修了生の事業支援を目的とした新制度『SBI-U ベンチャーチャレンジ制度』を 7 月に開設し、エントリー 3 案件の中から 1 案件を推薦案件として決定しました。推薦案件については、SBI インベストメント株式会社をはじめ、SBI グループ企業へ紹介され、資金提供、販売支援、協力者の紹介、事業アイデアの示唆など、ディスカッションを通して、多角的な事業支援の検討が行われます。



SBI-U ベンチャーチャレンジ制度 特設ページ：http://www.sbi-u.ac.jp/venture_challenge

【2015 年度 SBI-U ベンチャーチャレンジ制度 推薦案件及びエントリー案件】

【推薦案件】

- 上濱 直樹氏 2013 年 9 月 SBI 大学院大学修了
ビジネスプラン：『障害者目線でのアクセシビリティコンサルティング』

【エントリー案件】

- 李 孟東氏 2014 年 9 月 SBI 大学院大学修了
ビジネスプラン：『運輸業における人・車・サービスの管理システム』
- グエン ミン タイ氏 2015 年 3 月 SBI 大学院大学修了
ビジネスプラン：『ベトナムでオフショア開発』

■SBI-U ベンチャーチャレンジの今後の展望

『SBI-U ベンチャーチャレンジ制度』は、SBI ホールディングス株式会社及び SBI グループのベンチャーキャピタルである SBI インベストメント株式会社の協力のもと、日本の産業・経済・社会を飛躍させる優れたアイデアと高い志を持つ修了生に対し、教育的サポート及び事業支援を目的とした制度です。

SBI 大学院大学は、本学の修了生に対し、継続的教育の場及び事業成長の機会を提供するために、今後も毎年開催を行います。また、本制度並び審査の過程を公開し、社会的認知を拓げる場としての機能を持たせ、新産業育成、地方創生に寄与して参ります。

※SBI インベストメント株式会社は日本最大級のベンチャーキャピタルとして、これまで投資先累計約 661 社、Exit 社数 134 社 (2015 年 4 月 1 日) という、ベンチャー企業への投資・育成における豊富な実績を有しております。

■ 制度概要

対象者	SBI 大学院大学修了生・SBI 大学院大学在校生（2015 年秋学期修了予定者）													
エントリー・一次書類提出	<p>提出期間：2015 年 7 月 8 日（水）～2015 年 7 月 31 日（金）[必着]</p> <p>提出物： ビジネスプラン概要シート</p> <p>※本年度のエントリー受付は終了しております</p>													
メンター制度 (オプション)	希望者については、SBI 大学院大学講師による、二次書類審査に向けたビジネスプランのブラッシュアップのための『ビジネスプランサポート』を受講できます。													
二次書類提出	<p>提出期限:2015 年 9 月 13 日（日）[必着]</p> <p>提出物： ビジネスプラン詳細資料</p>													
二次書類審査・ プレゼンテーション審査	日時：2015 年 9 月 30 日（水）													
学内推薦審査基準	<table border="1"> <tr> <td>ビジョン/理念/志</td> <td>事業のミッション、ビジョン、理念などが明確で有意義なものか、また志を高く持っているか。</td> </tr> <tr> <td>ビジネスモデル・収益性</td> <td>誰に何をどんな対価で提供するかが明確か。またそのビジネスモデルは明確、有効で収益性を持つものか。</td> </tr> <tr> <td>市場性・スケーラビリティ</td> <td>ターゲットとする市場が明確で、ある程度の規模があり、成長が見込めるか。また市場の成長に伴って事業をスケーラブルに拡大できる仕組みと戦略を持っているか。</td> </tr> <tr> <td>競争優位性</td> <td>単なるアイデアではなく、技術・知見・ノウハウなど、長期にわたって競合優位性が担保できるものを持っているか。</td> </tr> <tr> <td>裏づけ調査による根拠</td> <td>市場規模、市場ニーズやユーザーの持つ問題、既存プレイヤーの状況などを、独自に分析・調査できているか。</td> </tr> <tr> <td>収支計画とキャッシュフロー計画の妥当性</td> <td>収支（利益）計画並びに、キャッシュフロー計画が裏づけと妥当性を有しているか。</td> </tr> </table>		ビジョン/理念/志	事業のミッション、ビジョン、理念などが明確で有意義なものか、また志を高く持っているか。	ビジネスモデル・収益性	誰に何をどんな対価で提供するかが明確か。またそのビジネスモデルは明確、有効で収益性を持つものか。	市場性・スケーラビリティ	ターゲットとする市場が明確で、ある程度の規模があり、成長が見込めるか。また市場の成長に伴って事業をスケーラブルに拡大できる仕組みと戦略を持っているか。	競争優位性	単なるアイデアではなく、技術・知見・ノウハウなど、長期にわたって競合優位性が担保できるものを持っているか。	裏づけ調査による根拠	市場規模、市場ニーズやユーザーの持つ問題、既存プレイヤーの状況などを、独自に分析・調査できているか。	収支計画とキャッシュフロー計画の妥当性	収支（利益）計画並びに、キャッシュフロー計画が裏づけと妥当性を有しているか。
ビジョン/理念/志	事業のミッション、ビジョン、理念などが明確で有意義なものか、また志を高く持っているか。													
ビジネスモデル・収益性	誰に何をどんな対価で提供するかが明確か。またそのビジネスモデルは明確、有効で収益性を持つものか。													
市場性・スケーラビリティ	ターゲットとする市場が明確で、ある程度の規模があり、成長が見込めるか。また市場の成長に伴って事業をスケーラブルに拡大できる仕組みと戦略を持っているか。													
競争優位性	単なるアイデアではなく、技術・知見・ノウハウなど、長期にわたって競合優位性が担保できるものを持っているか。													
裏づけ調査による根拠	市場規模、市場ニーズやユーザーの持つ問題、既存プレイヤーの状況などを、独自に分析・調査できているか。													
収支計画とキャッシュフロー計画の妥当性	収支（利益）計画並びに、キャッシュフロー計画が裏づけと妥当性を有しているか。													
推薦者発表	<p>日時：2015 年 10 月 19 日（月） 本学特設サイト及び SNS 上</p> <p>二次書類の審査及びプレゼンテーション審査による総合判定で推薦を行います。</p>													
グループ企業への推薦	<p>期間： 推薦案件決定後随時</p> <p>推薦者と SBI インベストメント株式会社など、SBI グループ企業とのディスカッションを行います。</p>													
支援候補者表彰式	<p>会場： SBI 大学院大学 OB 会総会（会場未定）にて発表</p> <p>日時：2016 年 2 月</p>													

■ **SBI 大学院大学修了生の特徴** : MBA 取得時会社員であった修了生の 25%が起業

SBI 大学院大学では、2008 年の開校以来、105 人の MBA ホルダーを輩出して参りました。GMAC の調査（2014 年）によると、世界全体の MBA ホルダーは、MBA 取得後すぐに起業をする人は 5%となっている一方、SBI 大学院大学の修了生で修了時会社員であった 77 名のうち約 25%にあたる、19 名の方が起業をしています（「SBI 大学院大学 事務局調べ」）。

※出展 : GMAC『2014 mba.com Prospective Students Survey Interactive Data Research Tool』

詳細は SBI 大学院大学のサイトよりご確認ください。

『SBI-Uベンチャーチャレンジ制度』特設ページ http://www.sbi-u.ac.jp/venture_challenge

※エントリー状況、書類選考・プレゼンテーション選考の様子などの経過については、特設サイトや SNS にて公開いたします。

■ **SBI 大学院大学概要**

大学名称	: SBI 大学院大学
学長	: 北尾 吉孝
研究科・専攻	: 経営管理研究科・アントレプレナー専攻
大学の形態	: 専門職大学院(通信教育)
卒業後の学位・称号	: 経営管理修士(専門職)
入学定員	: 正科生 60 名(春期生・秋期生各 30 名)
最低修業年限・修了要件	: 2 年・34 単位以上
所在地	: 神奈川県横浜市中区太田町 2-23 横浜メディア・ビジネスセンター6 階
URL	: http://www.sbi-u.ac.jp/

■ **応募・運営に関するお問合せ**

SBI 大学院大学 事務局

電話 : 045-342-4605 E-mail : admin@sbi-u.ac.jp 担当 : 石川